

令和3年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 蒲原聖母幼稚園
園長 川島弘美
蒲原聖母幼稚園 学校関係者評価委員会
委員長 佐野 絵理

1 幼稚園の教育目標

1. 神様と仲間と共に生きる子どもの育成
2. 五感を通して神様の恵みに気づき多くの感動を持てる豊かな心の子どもの育成
3. 自分の思いをいっぱい出して丈夫な体で力強く生活できる子どもの育成

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

1. 幼稚園型認定こども園として満1歳から就学前までの切れ目のない質の高い保育・教育を提供する。
2. コロナ禍の中園児・教職員が安全な環境で過ごせるよう保護者とも協力して感染対策に取り組む。
3. 各種行事について、職員が共通意識を持って計画・準備・実施出来る様に体制を整える。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

評価項目	自己評価(令和4年3月2日)		学校関係者評価(令和4年3月11日)	
	評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
教育内容	1	理念・方針	A	
	2	園の課題	B	
	3	行事の精選	B	コロナ禍の中だが、試行錯誤を繰り返し、また工夫して行事に取り組み実施することが出来た。
	4	園児指導	A	
	5	免許・資格	B	ベテランには一種免許、若手にはモンテッソーリ教師資格取得を勧めたい。
	6	職員の課題	B	自己課題を持って保育に取り組めるように日々・期毎振り返る時間を取りたい。
	7	研修の企画	B	昨年度よりはリモート研修が増え全員が参加する機会が持てた。今後は園内研修の充実を図りたい。
	8	環境設定	B	感染対策を工夫し、行事の中でも自然と触れ合う機会を設けてくれた。
子育て支援	9	未就園児	B	緊急事態宣言が発出され中止が多く、給食試食も出来なかった。来年度新しい企画も取り入れ行う予定。
	10	在園児	B	
	11	児相等の連携	A	
	12	預かり保育内容	A	保護者に安心して利用してもらえるように内容・体制も整えている。
	13	預かり保育体制	A	
安全管理	14	施設と設備	A	老朽化した3階保育室のエアコンを取り換えを実施、今後トイレの乾式化を進めたい。
	15	防犯体制	A	不審者対応マニュアルの周知・訓練の実施
	16	安全衛生管理	A	保護者に協力してもらい消毒、検温を徹底し衛生用品を上手く使用して過ごしてきた。
	17	アレルギー対応	A	
	18	防災対策	A	毎月色々な状況設定して訓練を実施。避難に必要なスロープや充電器など購入した。

評価項目	自己評価(令和4年3月2日)		学校関係者評価(令和4年3月11日)	
	評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見
人事管理	19	労働条件明示	A	
	20	時間外勤務	A	
	21	就業規則	A	
	22	労働者名簿	A	
	23	自己評価	A	
財務管理	24	予算作成	A	
	25	決算の分析	B	
	26	情報開示	A	
	27	個人情報保護	A	個人情報に関する同意書の提出の実施。
	28	経理規程	A	

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全な教育・保育環境の提供	新型コロナウイルス感染拡大は今後も続くと思われる。保護者と協力して検温・消毒の励行、3密回避などを意識し安心して通園出来る環境を提供していく。行事なども感染対策を徹底して実施出来る様に工夫をする。
職員研修の充実	県私幼の研修・地区研修など多様な研修に職員が積極的に参加し色々な視点を持てるようにしたい。また園内研修を充実出来るように体制を整える。
教育・保育の質の向上に取り組む	保育の実践・反省を重ね、職員が協力しさらに良い保育が出来る為の方法を考え実施していく。新任の職員も増えるので職員全員で理念・方針・教育課程・カリキュラムなどを確認し合う。行事なども担当に任せるのではなく、一つ一つ早めに計画し、園児の実態に適した方法で実施出来る様に余裕を持って取り組むようにする。保育がマンネリ化しないよう静と動の活動をうまく取り入れ、園児が生き生きと生活できる環境を提供をするなど教育・保育の質の向上の為に努力する。

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和4年3月16日～令和4年4月20日

●公表方法 玄関ホールや掲示板への掲示・ホームページでの公開

記入日 令和4年3月15日

記入者 園長 川島弘美

